

1 減価償却費等の計上方法

(1)減価償却費

固定資産の取得費用を、その固定資産の耐用年数にわたって配分し、各期の費用として計上するもの（現金支出を伴わない費用で、資本的収支の不足額の補てん財源となる。）

〔例：工事により4,000万円で水道管（耐用年数40年）を布設した場合〕

取得価格4,000万円 ÷ 耐用年数40年 = 100万円（1年当たりの減価償却費）

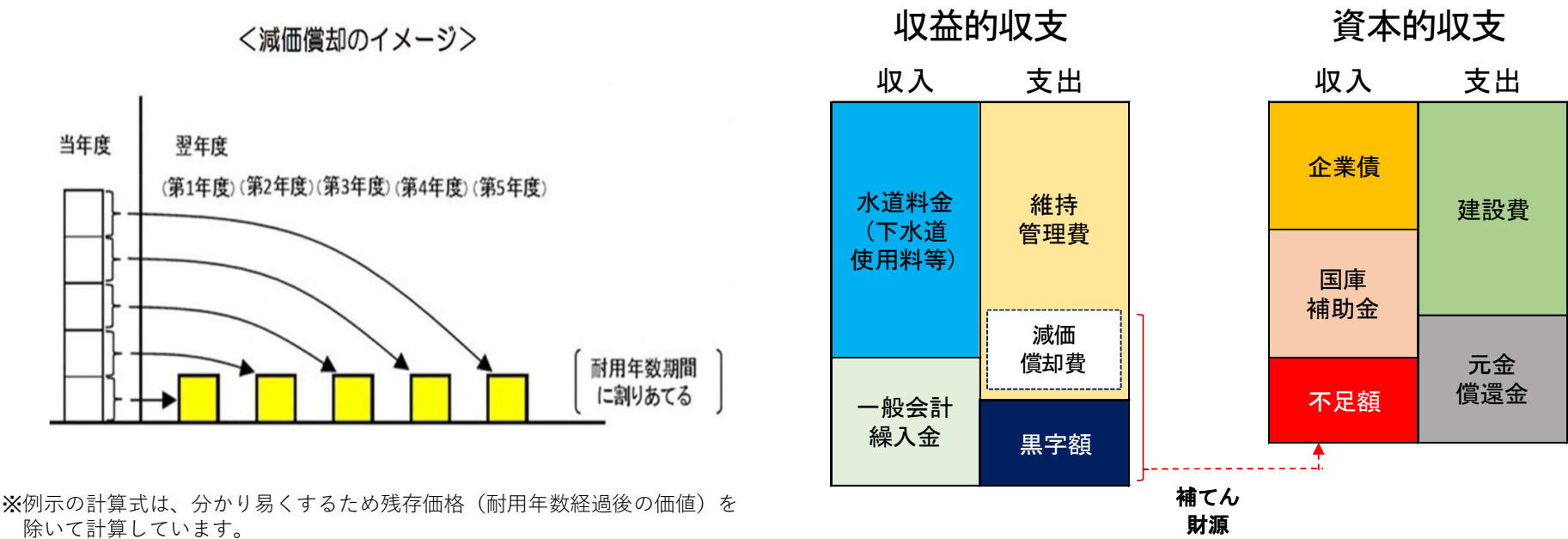
(2)資産減耗費

①固定資産を除却（処分）する際に、その固定資産のまだ減価償却費として費用化されていない額を除却費として計上するもの（現金支出を伴わない費用で、資本的収支の不足額の補てん財源となる。）

〔例：10年前に300万円で取得した取水ポンプ（耐用年数15年）を除却した場合〕

取得価格300万円 - 10年分の減価償却費200万円 = 100万円（資産減耗費）

②固定資産の撤去に要する費用（工事費など）を除却費として計上するもの（現金支出を伴う費用のため資本的収支の不足額の補てん財源とはならない。）



2 減価償却費等の推移

単位：百万円

|             | R2<br>決算 | R3<br>決算 | R4<br>決算 | R5<br>決算 | R6<br>決算 | R7<br>決算見込 | R8<br>予算 | R9<br>計画 | R10<br>計画 | R11<br>計画 | R12<br>計画 | R13<br>計画 | R14<br>計画 | R15<br>計画 | R16<br>計画 |
|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|------------|----------|----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 減価償却費・資産減耗費 | 1,887    | 1,870    | 1,870    | 1,895    | 1,890    | 1,894      | 2,130    | 2,060    | 2,078     | 2,082     | 2,108     | 2,181     | 2,261     | 2,338     | 2,411     |
| A（うち非現金支出）  | 1,887    | 1,870    | 1,869    | 1,895    | 1,890    | 1,894      | 1,980    | 2,060    | 2,078     | 2,082     | 2,108     | 2,181     | 2,261     | 2,338     | 2,411     |
| B（うち現金支出）   | 0        | 0        | 1        | 0        | 0        | 0          | 150      | 0        | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         | 0         |
| 【参考】建設改良費   | 2,020    | 2,303    | 2,814    | 2,792    | 2,558    | 2,423      | 3,606    | 4,340    | 4,493     | 4,780     | 4,946     | 4,899     | 5,077     | 5,078     | 4,890     |

令和8年度予算では、資産減耗費として水道管の撤去費用（現金支出を伴う費用のため、資本的収支不足額の補てん財源とならない。）を1億5千万円計上しているため、総額としては一時的に増加している。

資本的収支の不足分の補てん財源となる現金支出を伴わない費用Aは、保有している資産の取得価格と耐用年数などから機械的に算出されるため、微増傾向で推移するものと見込んでいる。

